

## 第 15 回 自然に対するイエスの権威 (4 : 35~41)

### 《アウトライン》

1. ガリラヤ湖を渡る (4:35-36)
2. 激しい突風 (4:37-38)
3. 湖を鎮めるイエス (4:39-40)
4. 弟子たちの反応 (4:41)

### 《結論》 神を恐れる心

---

### 《聖書研究メモ》

#### 4:35~6:6a までの流れ

- ・ 嵐を鎮める奇跡→自然に対するイエスの権威 (4:35-41)
- ・ 大勢の悪霊の追い出し→悪霊に対するイエスの権威 (5:1-20)
- ・ 長血の女性の癒やし→病に対するイエスの権威 (5:25-34)
- ・ 死者の蘇生→死に対するイエスの権威 (5:21-24, 35-43)
- ・ ナザレの人々の不信仰 (6:1-6a)

#### 4:36 「舟」

1986年にガリラヤ湖底から発掘されたガリラヤ・ボート (The Galilee Boat)  
→長さ約 8.3m、幅約 2.3m、高さ約 1.3m。大体 15 人乗りくらい。

#### 4:37 「激しい突風」

ルカ 8:23b 「ところが突風が湖に吹きおろして来たので、彼らは水をかぶって危険になった。」

#### 4:38 「ところがイエスは、船尾で枕をして眠っておられた。」

箴言 3:24 「横たわるとき、あなたに恐れはない。休むとき、眠りは心地よい。」

#### ヨナ書 1:4-6

<sup>4</sup>ところが、【主】が大風を海に吹きつけられたので、激しい暴風が海に起こった。それで船は難破しそうになった。<sup>5</sup>水夫たちは恐れて、それぞれ自分の神に向かって叫んだ。そして、船を軽くしようと船の積荷を海に投げ捨てた。一方、ヨナは船底に下りていて、横になってぐっすり寝入っていた。<sup>6</sup>すると船長が近づいて来て、彼に言った。「いったいどうしたのか。眠りこけているとは。起きて、あなたの神に願いなさい。もしかすると、その神が私たちに心を留め、私たちは滅びないですむかもしれない。」

#### 詩篇 107:28-29

<sup>28</sup>この苦しみのときに 彼らが【主】に向かって叫ぶと 主は彼らを苦悩から導き出された。

<sup>29</sup>主が嵐を鎮められると 波は穏やかになった。

#### 出エジプト記 14:31

イスラエルは、【主】がエジプトに行われた、この大いなる御力を見た。それで民は【主】を恐れ、【主】とそのしもべモーセを信じた。